

氏名	善生まり子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	老年看護学、地域看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	1991年北里大学看護学部、1999年北里大学大学院 看護学研究科 修士課程（健康看護学）、2018年北里大学大学院 看護学研究科 博士後期課程（看護生涯教育学）				
経歴	1991年学校法人北里研究所北里大学東病院消化器外科（看護師）、1992年富士宮市役所保健センター（保健師）、1996年秋田市医師会立秋田看護学校（専任教員）、1997年秋田大学医療技術短期大学部看護学科（助手）、1999年学校法人北里研究所北里大学東病院 治験管理センター（看護師：非常勤）、保健同人社 電話相談（保健師：非常勤）、2001年公立大学法人埼玉県立大学 保健医療福祉学部看護学科（助手）、2005年同大学（講師）、2014年同大学（准教授）				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本在宅ケア学会、日本老年看護学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本認知症ケア学会、日本保健医療福祉連携教育学会、日本看護学教育学学会、日本看護学会、日本サルコペニアフレイル学会				

### 【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	ヘルスリテラシー評価の高い高齢女性の認識の特徴ー2地区のグループインタビューからー	単独	日本看護科学学会第40回学術集会、オンライン	○善生まり子		2020.12
2	障がい児者の家族がもつレジリエンスの検討ー家族会会員への質問紙調査からー	共同	第28回（2020年度）埼玉看護研究学会、誌上発表	○川井万由香、善生まり子		2020.12
3	看護職員を大切に組織に係る男性看護職員の認識の特徴	共同	第51回 日本看護学会（2020年度）・看護管理、オンライン	○真々田美穂、善生まり子		2020.7
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	第55回（2019年度）明治安田こころの健康財団研究助成	障がいのある児・者と家族の健康と暮らしの多様性を支える社会的ネットワークの構造：地域社会とのつながり・仲間づくりに関する自助・互助の課題	研究代表者	2019.7～2021.6 ※COVID-19にて延長		
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	老年看護学Ⅲ（高齢者と地域）	○	8	すべてリアルタイム方式のオンライン学習により、老年看護学実習Ⅱの体験のリフレクションを通して地域包括ケアシステムにおける看護職の役割を教授し、WebClassによる自己学習を充実させた。高度看護実践専門家のゲストスピーカー2名を招き、学生との交流を積極的に進めた。		

2	老年看護援助論 博士前期課程		2	リアルタイム方式のオンライン学習により、高齢者の退院支援と在宅支援に関する看護職の専門性（実践課題）や研究課題について教授した。
3	在宅看護学特論 博士前期課程		2	リアルタイム方式のオンライン学習により、在宅移行期の退院支援に関する看護職の専門性（実践課題）や研究課題について教授した。
4	IPW論（専門職連携実践論）①		3	リアルタイム方式のオンライン学習により、「保健医療福祉分野における専門職連携教育（IPE）」を担当し、学生時代及び就業体験後のIPWの振り返りを促し、最終的な成果発表に寄与した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学Ⅱ（高齢者と家族）		4	リアルタイム方式のオンライン学習により、高齢者が活性化する清潔の援助に係る講義・一部実践清潔援助に関わった。清潔の援助に係る講義の一部はオンデマンド配信として教授した。看護師国家試験から老年看護学の問題を抜粋して、自己学習が充実するようWebClassにて課題を作成した。
2	看護学演習（老年看護） 博士前期課程		通年	博士前期課程2名のゼミに参加し、それぞれの研究課題及び進捗状況に応じて、指導教員と連携しながら指導補助教員としてサポートした。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学実習Ⅰ		2020.4～6	リアルタイム方式のオンライン学習により、学生が健康・元気な高齢者の対象特性を理解できるよう、グループ学習へ参加し、実際にインタビューによるコミュニケーションの成果について振り返りを促した。
2	老年看護学実習Ⅱ		2020.11～12	リアルタイム方式のオンライン学習と学内での実習の組み合わせにて、1クール2週間、学生5～6名を担当し、それを4クール行った。パーキンソン病事例の看護過程の展開（計画立案まで）を教授した。高齢者ケアのIPWにて、看護部長、看護師（実習指導者）、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、薬剤師、医療ソーシャルワーカーの学生との交流を企画・運営した。
3	総合実習		2020.4～7	リアルタイム方式のオンライン学習により、学生3名に対して、4月～6月にかけて12回ゼミを行い、実習期間中は総合実習（老年看護）のスケジュールにそって教授した。回復期リハビリテーション病棟の看護師（本学卒業生）による講義をコーディネートした。
4	IPW実習		2020.8～10	リアルタイム方式のオンライン学習により、埼玉医科大学の学生を含めて6名担当し、紙上事例の展開を通して、チーム形成、専門職連携の体験を促した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4～2021.1	主指導 5名	副指導 0名
2	修士論文	2019.4～2021.3	主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 2名
3	博士論文		主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	2021年3月開催JANPU・JABNE説明会・報告会・研修会	一般社団法人 日本看護系大学 協議会	メインテーマ「COVID-19によってみえてきた臨地実習のエッセンス」のうち、「代替実習によって創出された遠隔（メディア）授業の実際」（オンデマンド配信）	2021.3

2	メディカルトピア草加病院看護研究指導	メディカルトピア草加病院看護部	看護研究指導	2020.4～2021.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	草加市総合政策部 人権共生課		草加市男女共同参画審議会	2019.4～2022.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称			年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	埼玉県	朝霞保健所、草加保健所において、新型コロナウイルス感染症対策に係る埼玉県保健所応援に参加した。	2020.12～2021.3
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員		2020.4～2021.3
2	学科等における委員会等	看護学科実習計画調整委員：第14回臨地実習教育協議会の企画・運営		2020.4～2021.3
3	学科等における委員会等	看護学科実習計画調整委員：実習保険Will担当及び予算担当		2020.4～2021.3
4	学科等における委員会等	看護学科4年担任：集合日の企画・運営		2020.4～2021.3
5	学科等における委員会等	看護学科4年担任：国試対策及び就職支援対策の補助		2020.4～2021.3
6	学科等における委員会等	看護学科4年担任：特別な配慮を要する過年度生に対する通年の学生生活及び履修支援		2020.4～2021.3
7	学科等における委員会等	看護学科4年担任：学生生活及び履修・就職支援等に関わる学生への個別対応、定期的及び必要時の個別面談		2020年4月～2021年3月
8	学科等における委員会等	卒業生の研究支援及び学会発表（1名）		2020.4～2021.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	一般社団法人日本看護系大学協議会・看護学質向上委員会の委員として、2020年9月～12月にかけて「COVID-19に伴う看護学実習への影響調査」のアンケート調査に参加し、調査用紙の作成及び集計作業の業者選定、業者との打ち合わせ、結果のまとめ等を担当した。 <a href="https://www.janpu.or.jp/2020/12/11/17860/">https://www.janpu.or.jp/2020/12/11/17860/</a>			